

レポート添削見本

講師添削型レポート

客観式問題と記述式問題を組み合わせたレポートです。テキストから学び取ってほしい知識やスキルを正しく理解し、さらにこれを応用できるかどうかを確認するものです。講師添削型レポートでは、ご受講者お一人おひとりの解答内容に応じて、各分野の添削指導講師が実務に即したきめ細かい個別指導を行っています。

※このレポート添削見本は、あるコースの一例です。コースによってはコンピュータ採点型レポートを併用している場合があります。

通信研修レポート問題

科目名 工程管理の実践

科目コード レポートNo.

受講者の皆さまへ

- レポートは在籍期間内に提出ください。
- 表紙の所定事項について記入もれがないか、レポート提出シールの貼り忘れがないか、解答の記入もれがないか、お確かめください。
- レポートに落しなどの不備がありました場合は、レポートを提出される前に、通信研修サポートセンターまでご連絡ください。
- レポートの提出方法などの詳細は「学習のおしり」をご参照ください。
- 本レポートに記入されている個人情報および解答内容は、レポート返送や添削指導の目的以外には使用いたしません。

添削指導を行う際に、参考にさせていただきます。ぜひご記入願います。

勤務先名	所属	年齢 () 歳
------	----	-------------

学習後の感想など、ご自由にお書きください

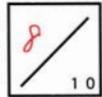
今回の学習により、自分の担当外の業務に関しても、少し視野が広がったように思います。
生産工程の工程管理が1つでも不十分であれば、QCDを達成できないということも理解できました。

講師からの総評	評点
製品のQCDを維持向上するための、工程管理の基本的な考え方や進め方を理解できています。問題解決に当たっては、まず事実を明確にし、問題をしっかりと把握することから始めることも重要です。QCD、4Mに關した実績を記録し、記録ではなく記録に基づいた確実な分析を行うよう心がけてください。	88
担当講師	(印)

感想に対しても必ず励ましやアドバイスなどのフォローを行います。

特に留意いただきたい点をお一人おひとりの学習成果に応じてアドバイスします。

つの設問から1つを選択して、答えを解答欄に記述しなさい。だが工程管理に関連した業務（広く生産管理全般、例えば営業、開調達、生産・技術、品質に関する業務などを含む）に関わっていない(1)を選択すること。工程管理に関連した業務にまったく関わっていない理由により(1)の設問に解答できない場合のみ(2)を選択すること



会社における現状の工程管理の課題（例えば、在庫の削減、リー納期の遵守、業務コストの削減、顧客情報の受発信など）または作業、品質、納期、歩留まり、設備に関するクレームなどを考トを簡潔に述べなさい。さらに、このテキストの学習を踏まえて題点をどのように解決または改善したらよいか、考察しなさい。

テキストで学習したポイントを示しながら、解答内容に応じて、理解促進のためのアドバイスを行います。

自職場で活かせるよう、実践的なアドバイスを行います。

職場の問題点は機械稼働率が低下し、不良品発生率が多いことです。このことが納期遅れの最大の原因にもなっています。これらの原因として、若年層の社員の経験不足があげられます。機械を効率よく稼働させるためには、流れ一貫化生産、ボトルネック工程の機械稼働率の改善を行うことが必要だと思ひます。作業方法を見直し、コンピュータ制御によるNC機械を最大限、利用するようにすれば、人のスキルに左右されなくなるからとす。そして、QCDで工程をしっかりと管理し、標準時間内で完了することはもちろん、標準時間を短縮させて、リードタイム削減とコストダウンも実現できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

8/15~17
機械の稼働率低下と不良品の発生率増加について、その問題の現状把握
原因の追求
対策の立案・実施
歯ごたえが必要で、とつ一度、問題の全体像について整理して欲しい。
生産能力向上の目標値を明確にして欲しい。また、作業標準と標準時間の見直しなども検討してほしいかがどうか。